

# 生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

## 生産性向上支援訓練 3つのポイント

### 1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全128コース('22.11月現在)）

### 2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
  - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています

### 3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能



#### 全国実績

（累計）受講者数 **179,947**人 利用した企業数 **60,384**社 受講者評価（業務への役立ち度） **98.2** %

※'17～'22.9月末まで

## 訓練受講までの流れ

#### 課題や方策の整理

- ・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

#### 訓練コースのコーディネート

- ・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入して業務を効率化したい。

- 分野・コース
- 生産管理、流通・物流、バックオフィス など
  - 生産現場の問題解決 ・ RPA活用
  - テレワークを活用した業務効率化 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- 分野・コース
- リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成 など
  - 成果を上げる業務改善 ・ リスクマネジメントによる損失防止対策
  - 作業手順の作成によるノウハウの継承 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- 分野・コース
- 営業・販売、マーケティング、プロモーション など
  - マーケティング志向の営業活動の分析と改善
  - 提案型営業手法 ・ 提案型営業実践 など

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

- 分野・コース
- ネットワーク、データ活用、情報発信 など
  - 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
  - 集客につなげるホームページ作成 など

#### 訓練受講

- ・所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～

(生産性センター紹介ページへ)



## 生産性訓練 利用者の声①

# 株式会社フジムラ製作所

「問題解決の題材も実際に普段行っている作業での手順に沿って取り組む事ができたのでイメージがしやすく、より理解を深める事が出来ました。」

### 利用コース情報

- ・ 訓練コース名：「品質管理実践」
- ・ 訓練期間：令和3年11月
- ・ 受講者数：21名

### プロフィール

- ・ 所在地：埼玉県川口市
- ・ 従業員数：100名
- ・ 事業内容：金属加工業

#### <訓練を利用した事業主の方の声>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 私達が目指すのは、お客様に必要とされる工場であり、創立以来「提案力・高品質・納期厳守」を継続し、お客様との信頼関係を築き上げることに取り組んでまいりました。製品の外観はもとより、±0.1mmの精度を守る精密板金から、お客様の指示する寸法公差まで、弊社では従業員全員が常にこれを意識し、よりクオリティの高い製品の作製に努めています。

この度「品質管理実践」を学んだことで、お客様の要望に適合する品質の製品をタイムリーに提供していくために、訓練で習得した知識や手法を活用して不良・クレームゼロを目指し、生産性向上につなげていきたいと考えています。

#### <訓練を受講した従業員の方の声>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 私が所属している溶接加工部門は、手加工による作業がほとんどのため、最も品質のばらつきが出やすい部署だと思えます。また、多品種少量生産であり、お客様に対して求められる品質が異なるため、品質精度をキープしていくのに大変神経を使います。そのため、高品質な商品を提供し続けるために、毎月ミーティングを実施しており、加工不良やクレームが起きた原因を掘むために「なぜなぜ分析」をくり返し、真因を特定し再発防止を行うことで、同じような問題が再発しないよう活用しています。

今回の訓練では、問題解決の題材も普段行っている作業での手順に沿って取り組む事ができたのでイメージがしやすく、より理解を深める事が出来ました。今後不具合が発生した際も、今回学んだQC7つ道具を活用しながら、品質向上に努めてまいります。



専務取締役 内山様

## 生産性訓練 利用者の声②

# 社会福祉法人愛耕福祉会

「異業種の方との交流で職業人としての『立ち位置』を発見でき、また、マネジメントを体系的に学ぶことが出来ました。」

### 利用コース情報

- ・ 訓練コース名：  
「職場のリーダーに求められる統率力の向上」
- ・ 訓練期間：令和3年5月
- ・ 受講者数：3名（オープンコースの受講）

### プロフィール

- ・ 所在地：島根県雲南市
- ・ 従業員数：84名
- ・ 事業内容：保育所経営

#### <訓練を利用した事業主の方の声>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 保育現場は子どもの保育以外にも事務的な作業を多く担っており、一人ひとりの業務負担が大きく生産性が上がらないという現状があります。また、人材育成面においてもOJTに依存しており、組織（職場）をマネジメントする意識が希薄であると感じていました。

今回の研修では、異業種の方との交流で職業人としての「立ち位置」を発見でき、またマネジメントを体系的に学ぶことができました。保育業界の研修は専門的なテーマが多く、それ以外の情報に触れることが少ないのが現状です。今後、保育者としての「視野」を広げるために1人でも多くの職員に専門分野以外の学びを体験できる、生産性向上支援訓練を活用したいと考えています。

#### <訓練を受講した従業員の方の声>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 職員が全体的に受け身で控えめなため、自ら考え行動したり発信する部分が弱いと感じていました。訓練を受講してみて、「職場の課題と解決のプロセス」を考察する中で、課題の対象が“人”である保育現場においては明確なゴールが分かりにくいと感じました。

訓練で良かった点としては、「コーチングを活用した指導法」についての学びです。保育現場の対象である“人”の課題を抽出するプロセスとして、“見えないものを捉える”ことを意識するようになりました。

今後は、失敗も含め、いろいろな経験をしていく中で、本人が存在意義を感じられるような関わり合いを通じて、職員（後輩）の持っている力を発揮できるようにしたいと思います。

